株式会社 エコスタッフ
DX宣言書

2025年3月31日
株式会社 エコスタッフ
代表取締役社長 藤井 映規

❑ 経営理念

当社は、美しい地球の環境を保全することが現在、また次世代への大切な使命と認識し、事業活動のすべての面で環境保全に配慮・創造することを継続的に実践し、循環型社会の構築に努めます

❑ DXビジョン（2～3年後にありたい姿）

◆ 解体現場や内部事務のデジタル化を推進することで、業務効率化を図ります
◆ 福利厚生の拡充等を通じて社員の成長を促進し、働きやすい環境を整備します
◆ 最先端のデジタル技術を積極的に取り入れ、業務プロセスの継続的な改善を行うことで、持続可能な成長を目指します

❑ DX戦略・施策

➢ フェーズ1（現在 ～ 2026年2月）

戦略　「デジタル技術を活用した解体現場と内部事務の業務効率化に向けた計画の策定」

施策
- 導入済みITツールを更に活用するため、勉強会や実務に即した演習を実施
- 現場および事務担当者間の連携を強化するため、導入済みコミュニケーションツールの更なる活用を検討、実施
- 業務内容や進捗状況の記録を可視化・共有化するため、日報・マニフェストをデジタル化
  ※マニフェスト…廃棄物の処理が適正に実施されたかどうか確認するために作成する書類（公益全国産業資源循環連合会HPより）
- 効率的な社内DX化を実現するため、業務のデジタル化に向けた実行計画を策定
- 現場調査の効率化を目的に、ドローン導入を検討

➢ フェーズ2（2026年3月 ～ 2027年2月）

戦略　「AI等のデジタル技術を活用し、解体現場業務の効率化、および廃棄物のリサイクル率を向上」

施策
- フェーズ1にて策定したDX実行計画を実行
- AIを活用し、過去の施工データを収集・分析、リソースの最適化や施工時間の見直し等を実施
- AIを活用し、廃棄物の特徴を自動で認識・分類することで、選別精度を向上
- GPS機能を活用し、廃棄物収集車の最適なルートを計画することにより、収集時間の短縮や燃料消費量の削減を実現

➢ フェーズ3（2027年3月 ～ 2028年2月）

戦略　「人材採用の強化と働きやすい環境の整備」

施策
- SNSを活用して企業の魅力を発信し、採用活動を強化
- DX取り組みにより創出された余剰時間を活用し、社員の資格取得支援やスキルアップ施策を検討することで、働きがいのある職場を実現

❑ DX推進体制

- 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

❑ DX推進目標

- 日報・マニフェストのデジタル化　：完了（2026年2月）
- 現場作業のドローン導入　：完了（2027年2月）

第四北越銀行